

1. 児童養護施設（ベトレヘム学園）の運営

【定員】

定員 57名（本園 45名、地域小規模 12名） 平成30年4月～平成31年3月

【年間利用状況】（月初在籍人員）＜地域小規模＞

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
未就学	10	10	10	10	10	10	10	10	10	9	9	10	118
小学生	22 <8>	22 <8>	22 <8>	22 <8>	22 <8>	22 <8>	22 <8>	22 <8>	22 <8>	22 <8>	21 <8>	21 <8>	262 <96>
中学生	8 <3>	8 <3>	7 <2>	7 <2>	8 <2>	8 <2>	9 <2>	10 <2>	10 <2>	10 <2>	10 <2>	10 <2>	105 <26>
高校生	12 <1>	12 <1>	12 <1>	12 <1>	12 <1>	12 <1>	12 <1>	13 <2>	13 <2>	13 <2>	13 <2>	13 <2>	149 <17>
措置延長	2	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	8
停止			1	1				1			1	1	5
合計	54 <12>	53 <12>	53 <11>	53 <11>	53 <11>	53 <11>	54 <11>	56 <12>	55 <12>	54 <12>	54 <12>	55 <12>	647 <139>

【施設運営状況】

- ・重点目標を「子どもの希望がかなう場所」「みんなが居心地の良い職場」とした。
- ・「居心地の良い職場」作りのために、働き方改革委員会を立ち上げた。「誰もが働き続けたいと思える職場環境をつくる」ことを目的とし、まずはアンケートを行って職員の満足度や希望等を調査した。その結果、必要なシフト特に子育てをしている職員の都合に合ったシフトを新規に増設した。有給休暇や休憩の取り方等については、次年度への課題である。
- ・「子どもの希望がかなう場所」のために、高校の進学先はできる限り子どもの希望を最優先させた。習い事をしたい子どもに関しては、ボランティアを募ったり、外部の体験に参加した。体験後もっとやりたいという子どもに関しては、次年度本格的に通うことを検討する。他にも子どもの方針についての話し合いは、「子どもの最善の利益」を最優先に行った。
- ・建物全体のガバナンスという点では、運用上の取り決めが守られなかったことが残念であった。何とか妥協点を定めたが、今後は双方の都合を事前に十二分に話し合い、一度取り決めたことが覆ることの無いようにしていく。

【利用者支援状況】

- ・入所 7/30 NY(中2女) 9/14 HH(中3女) 10/5 TK(中3女)
10/9 SK(中2女) 10/24 TT(高2男) 2/26 HM(3歳女) 3/28 MY(新高1男)

- ・退所 <他施設変更> 7/26(中2女) 3/22(小4男)
<家庭復帰> 3/20(中3女) 3/20(年長女) 3/30(年長男)
<自立> 3/20(高3男)
- ・措置延長 OR(18歳男)…住む場所が決まるまで
RA(18歳女)…就職先と住む場所が決まるまで
- ・一時保護受け入れ HT(年長女)…10/22～12/27(ゆりホーム)
MJ(年中女)…3/22～4/4(ふりーじあホーム)

【地域との連携】

- ・白梅自治会とは、7月21日納涼大会の共催、11月3日どんぐり祭への協力、2月17日合同防災訓練を行うことができた。
- ・清瀬市社会福祉法人でつくる地域貢献ネットワークに参加した。
- ・6月～12月の毎週水曜日に、地域交流ホールを清瀬市の介護予防事業に貸し出した。

【職員の質の向上】

- ・退職者は2名で、理由は他職種(心理職)への転職と、家族の都合による転職であった。他にも結婚を理由に2名の退職希望があったが、退職者が重なってしまったホームがあったため、3ヶ月～5ヶ月退職を延期して貰った。
- ・4名が新たに産休育休に入り、合計4名取得中である。そのうち2名は、次年度復帰予定である。
- ・社会的養護処遇改善を、昨年のⅠに加えⅡ～Ⅴについても実施した。また次年度以降の需給要件である研修受講を、計画的に行った。

【施設・設備整備】

(単位：千円)

工 事		備品購入等	
件 名	金 額	件 名	金 額
		イナバ物置	162
		グループホーム自動火災報知設備	183
		電動アシスト自転車	105
		トヨタシエンタ	1,766

注：工事は1件100万円以上、物品購入等は1件10万

【当年度の収支について】

収入は、保護単価の増加と処遇改善費等で、前年度から約2900万円増えた。寄付金は、新園舎落成の祝儀があった前年度に比べると約66%減であった。

支出は、人件費率は約60%でまだ余裕がある。新園舎に移った影響として、光熱費が

前年比約 47%増の 987 万円余りであった。次年度はナザレットの家との共用部分に関しては、面積比率を若干見直す予定である。事業費事務費の消耗品・備品や業務委託費等は合計で約 160 万円前年度から減額であった。

建替え資金の目途がついたので、積立金にあまり回さずに子どもたちのために使うように予算を組んだが、給食費や教養娯楽費、教育指導費等が予算より大きく下回り、結果的には 7100 万円の積み立てとなった。